

公表

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果

公表日

令和 8 年 1 月 29 日

事業所名

こばんはうすさくら 川崎京町教室

保護者等数(児童数) 46名

回収数 46件(割合100%)

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	37	5	2	2		・出来る限り広く安全に過ごせるよう引き続き工夫していきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	39	5	0	2		・引き続き安心して過ごしていただけるよう努めます。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	41	1	0	4		・引き続き工夫しながらバリアフリー等への配慮を行っていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	41	3	1	1	・年齢に合わせた部屋作りになっています。	・今後も清潔かつ整理整頓された空間で過ごしていただけるよう努めます。
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	41	2	1	2		・職員間の共有の強化や研修などで専門性を高めていけるよう努めます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	42	1	1	2		
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	42	2	1	1	・定期的に必要なサポート、内容の擦り合わせがあります。	・今後も日々共有しながらニーズに合わせた支援計画の作成に努めます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているだと思いますか。	43	0	1	2		・引き続き適切な支援に努めます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	42	1	0	3		・引き続き適切な計画及び支援に努めます。
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	41	2	1	2	同じプログラムが何回か重なり子どもが飽きていたことがあった。	・偏りが出ないよう工夫していきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	16	6	6	18		・どのような交流の場があるのか検討しながら機会を作っていくたい。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	45	1	0	0		・引き続き契約時に丁寧な説明を心がけていきます。
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	43	1	1	1		・引き続きわかりやすく丁寧な説明を心がけていきます。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	15	9	8	14		・現状機会がないため、提供していくよう検討していきます。
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができるだと思いますか。	39	4	2	1		・引き続き共通理解を目標に努めています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	39	4	3	0		・いつでも相談がしやすい環境づくりに努めています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	41	3	2	0		・今後も保護者様や子どもたちに寄り添いながら支援ができるよう努めます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	16	7	10	13		・カフェ以外でもご家族で参加していただけるような機会を検討していきます。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	35	5	1	5		・引き続き相談があった際等は適切に周知・対応をしながら、相談しやすい環境づくりに努めます。

	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	40	3	1	2		・引き続き漏れがないよう努めます。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	40	3	1	2		・出来る限りリアルタイムで共有していくよう努めます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	44	0	0	2		・引き続き留意していきます。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	44	1	0	1		・積極的に保護者様へ共有していくよう努めます。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	43	2	0	1		・今後も非常災害に備えて訓練を行っていきます。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	43	2	0	1		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	43	2	0	1	未経験なので分かりません。	・引き続き漏れがないよう努めます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	44	1	0	1		・日頃から交流を大切にし、安心して通えるよう努めます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	37	5	2	2	・プログラムが楽しいと言っています。 ・年齢も上がり積極的ではないが環境への不満は無い様子。	・引き続き楽しく過ごせるよう工夫していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	41	4	1	0		・支援の質を高め満足していただけるよう努めています。

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果

公表日

令和 8 年 1 月 29 日

事業所名

こばんはうすさくら 川崎京町教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	2	・職員の役割分担を明確にすることで円滑に業務が進むよう工夫している。 ・児童が各自でリラックスできる空間を確保している。	・多い時もあれば足りない時もある。 ・職員の定着と増員。
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	2	・児童が各自でリラックスできる空間を確保している。 ・本棚と本に同じ色の丸シールを貼り、児童が自ら進んで片付けやすい工夫を行っている。	・バリアフリーが必要なところは検討していく必要がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	2	・刺激的になるものは避け、清潔を保持している	・常に整理整頓を意識していかたい。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・学習の際は個別の場所(個室)を確保して児童が集中して取り組むことが出来るよう配慮している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	1		・毎月のミーティングで行えると良い。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		・今後も適切に行い、HP上で公表していく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・毎月個人面談とミーティングを行っている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	4		・第三者による外部評価を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0		・外部の研修を積極的に取り入れていけると良い。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0		・引き続き様々な職員が案を出し合いながら適切に作成、公表していく。
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7	0	・定期的なカンファレンスや日々の共有を行うことで検討や振り返り、目標設定を行っている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・定期的なミーティングを行うことで検討や振り返りを行っている	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7	0		・今後も適切に共有し支援を行っていく。
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	1		・引き続き日々の行動観察、記録などを行っていく。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	1		・学校での様子、学習状況の共有等を学校側とも積極的に行えると良い。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・毎月案を出し合って決定してる。 ・プログラム名から興味を持ってもらえるよう立案することに力を入れている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・児童が自分で楽しめたり学んだりできるようなプログラムを適宜工夫して行っている。	
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	1		・引き続き状況に合わせた計画、支援を行っていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	・毎日朝礼で打ち合わせを行っている。	・晨礼を取り入れられるとなお良い。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	2	・打ち合わせではないが適宜周知している。	

適切な支援の提供	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	1		・学習記録や支援記録等、引き続き今後の支援に活かせるよう努めていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0		・見直し内容を漏れがないように努めていきたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	7	0		・バランスよく取り入れていけるよう見直していく。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7	0		・ご本人と相談しながら自己選択、自己決定の支援に努めていく。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	1		・現状機会が無いが、必要な際は管理者または児発管が参加します。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	3		・他事業所との関わりを作っていくたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	2	・日々の送迎や欠席に関する情報等を職員同士で常に共有している。	・漏れないよう努めます。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	1		・必要に応じて連携していくよう体制を整えたい。
保護者への説明等	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7	0		・まだ移行の実績がありません。今後必要に応じて共有していく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3	4		・今まで以上に連携を図りたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		・積極的に交流の場を見つけ参加していくたい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5		・今後、参加を検討していくたい。
保護者への説明等	34	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0		・面談や送迎時の申し送り等を行っているが、より強化していくたい。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレンツ・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	4		・引き続き個別でのご相談は受け付けております。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0		・契約時に行っております。今後も丁寧を心がけていきます。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0		・引き続き面談などで適切に意向確認を行っていきます。
保護者への説明等	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7	0		・面談で方向性について相談を行い、書面を提示しご説明の上、同意をいただいています。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・保護者との面談を定期的に行ったり、児童の様子や支援内容の報告などを行っている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	4		・交流の場を積極的に作っていくたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0		・保護者をご招待するプログラム等を増やし、保護者間での交流の場を増やしていくたい。
保護者への説明等	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0		・引き続き月1回の会報誌やSNS等を活用、発信していきます。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0		・引き続きSNS等での個人情報の保護に留意していきます。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0		・こどもに合わせた方法を検討、実践したり、保護者様との擦り合わせなどを引き続き行っています。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4		・課題はあるものの前向きに検討していくたい。

非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	1		・策定されたマニュアルの周知方法を検討します。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・職員間で周知し、避難訓練で避難場所や経路等の確認を行っている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	2		・引き続き契約時や必要に応じて確認していく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0		・引き続き契約時や必要に応じて確認、対応をしていく。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0		・引き続き安全計画の作成及び研修、訓練を行っていく。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0		・取り組みについて会報誌に載せるなど対応を検討していきます。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0		・毎日ヒヤリハットを作成していますが、漏れがないよう周知に努めます。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0		・引き続き研修、振り返りを行っていきます。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7	0		・対象となるお子様がおりませんが、今後必要に応じて適切に説明と了承を得られるよう対応していく。